

Code Orange

第43号

関西医科大学附属滝井病院災害訓練 2014年10月18日

今回の訓練は南海トラフ地震による関西医科大学の病院対応ならびに傷病者の広域搬送でした。当日は当センターに7時30分に集合し、関西医大滝井病院に向かいました。9時に病院に到着した時点で、すでに本部は大混乱していました。まず、最初のミッションは「近くのビルの倒壊現場」での、DMAT活動本部の立ちげでした。そこで消防本部と協力して情報を収集しました。その後救護所に入り、次々と運ばれてくる傷病者をトリアージして傷病者の搬出を行いました。最後に広域搬送のミッションが課せられ、ヘリポートの近くにSCUを設置しました。SCUの設置は当センターのDMATカーを活用し、タープの下に5床の簡易ベッド、医療資機材を展開しました。傷病者の診察安定化処置を行い、傷病者をヘリコプターに乗せ搬出し、すべてのミッションを無事にこなしました。



和歌山県津波災害対応実践訓練 2014年10月19日



今回の訓練は「平成26年10月19日(日)午前9時00分、和歌山県で非常に強い揺れを感じる地震が発生し、和歌山県内では震度5強～震度7の揺れを観測した。震源地は和歌山県南方沖で、地震の規模はマグニチュード8.7と推定される」という想定のもと、当センターDMATは近隣県のDMATと一緒に和歌山県の支援を行いました。今回は八尾空港からCH-47に搭乗し白浜SCUに向かいました。白

浜SCUでは、SCUの設営や和歌山県内の被害状況の確認などが進められていました。災害対策本部から、紀南病院への病院支援が指示され、UH-1で紀南病院に向かいました。紀南病院は、高台にあり、津波の被害もなくかろうじて病院機能は保たれていました。紀南病院では近隣の災害協力病院の現状把握を行いました。広域医療搬送基準適応の傷病者が運び込まれてきましたが、紀南病院では手術室が被災しており手術ができない状況のため搬送用ヘリコプターの手配を行い白浜SCUへと搬送しました。

